

PCB廃棄物処理完了に向けた見通しについて

項目	R2年度 までの 処理量	R3年度 以降の 処理対 象数量	処理見込み					備考	注
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
1. 北九州事業所			計画的処理完了期限		事業終了準備期間				※1 今後の掘り起こし見込み量310トンを含む
安定器及び汚染物等	トン	7,781	2,787 ^{※1}	1,420	951	416			
2. 大阪事業所			計画的処理完了期限		事業終了準備期間				今後新たに掘り起こされる量については含まれていない。 ※2 北九州エリアにおいて処理終了後に発見されたコンデンサー等を大阪事業所及び豊田事業所で処理。
変圧器類	台	295	3	3					
	台	2,341	14	14					
	台	93	0(完了)						
	★台	30	0(完了)						
コンデンサー類	台	80,863	3,215	3,215					
	★台	70	0(完了)						
	★台	123	0(完了)						
					約500(の一部) ^{※2}				
その他	本	2,284	717	299	418				
3. 豊田事業所			計画的処理完了期限		事業終了準備期間				※2 北九州エリアにおいて処理終了後に発見されたコンデンサー等を豊田事業所及び大阪事業所で処理。 ※3 処理対象数量はR3.4~12の実績にR4.1以降の処理計画量を加えた値。また、R4.1~3の予測新規登録数を含む。
変圧器類	台	2,439	34 ^{※3}	33	1				
コンデンサー類	台	75,127	2,636 ^{※3}	2,328	308				
	台				約500(の一部) ^{※2}		令和5年度末までに終了		
PCB油類	本	1,599	490 ^{※3}	436	54				
保管容器	箱	2,884	845 ^{※3}	261	584				
4. 東京事業所			計画的処理完了期限		事業終了準備期間				今後新たに掘り起こされるものについては、計画的処理完了期限内ではその都度処理対象に加え、事業終了準備期間については、今後示される国の方針に沿った期間に処理を行うことを検討。
変圧器類	台	26	3	3	0				
	★台	5	0(完了)						
	台	295	8	8	0				
	台	921	19	19	0				
	台	2,403	63	48	15				
	台	10	0(完了)						
	★台	30	0(完了)						
コンデンサー類	台	445	43	41	2				
	台	59,622	5,941	4,842	1,099				
	台	8,514	1,017	764	253				
	台	6,723	1,507	1,350	157				
	台	10	3	3	0				
PCB油(リンを含まない)	トン	70	10	10	0				
リン含有PCB油	トン	130	157	157	0				
5. 北海道事業所			計画的処理完了期限		事業終了準備期間				今後掘り起こしが見込まれる量(コンデンサー約900台、安定器約700トン)については、掘り起こしの状況を踏まえて事業終了準備期間も活用して処理する予定であり、計画値には含まない。
変圧器類	台	3,961	109	66	43				
コンデンサー類	台	63,104	5,306	2,600	1,700	1,006			
				計画的処理完了期限		事業終了準備期間			
安定器及び汚染物等(北海道事業エリア)	トン	3,410	719	283	436				
(東京事業エリア)	トン	3,073	2,955	882	564	850	659		

(注)

○各事業所の計画は、事業部会、監視会議等で提示した処理の見通し等を記載している。

○安定器及び汚染物等について、北九州は缶重量を含む。北海道は缶重量を含まない。

○R2年度までの処理量については、試運転によるものを除いている。

○項目欄の★は他事業所エリアで発生したものの処理を行ったことを表している。